

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果から見た 芦屋の子どもたち

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

今年度の教科に関する調査は、国語、算数・数学の2教科で実施されました。結果は、小中学校ともに今年度も全ての教科で全国平均を上回り、市教育委員会では、「十分に評価できる結果」と考えています。

質問紙調査結果では、本市児童生徒の学習習慣、生活習慣等に関して評価できる点が多いものの、いくつか課題も読み取れることから、今後も積極的に改善に取り組みます。



■実施日・対象 4月19日(火)
市内の小中学校6年生(771人)
中学校3年生(501人)の計1,272人

■調査内容
①教科《国語A 算数・数学A》知識に関する調査
《国語B 算数・数学B》活用に関する調査
②学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面に関する質問紙調査

本市の各教科の調査結果〈概要〉

小中学生ともに、すべて「良好」以上で評価できる結果に

各教科別の概況

- 小中学生ともに基礎的・基本的な知識・技能については、すべて「良好」以上となっており、評価できる結果となっています。
- 小学校の算数Bは、全国と比較して高得点の児童が多く昨年度に引き続き、「極めて良好」となっています。
- 中学校の数学Aは、昨年の「良好」から「極めて良好」となっています。
- 小中学校ともに記述式問題では、正答率が低くなっており、課題が見られました。

今後の教育現場では…

- 国語では、複数の条件に合わせて文章を書く活動や自分の考えを具体的に表現する機会を増やします。
- 算数・数学では、文章や写真、図や表を読み取ることや数学的な表現を用いて説明するような活動に、一層取り組みます。

全国と本市の平均正答率の比較

	教科	国語		算数・数学		
		A	B	A	B	
小学6年生	全国	平均正答率	72.9	57.8	77.6	47.2
	芦屋市	平均正答率	77.8	65.0	83.6	55.3
		全国比較	107	112	108	117
		評価	良好	良好	良好	極めて良好
中学3年生	全国	平均正答率	75.6	66.5	62.2	44.1
	芦屋市	平均正答率	80.2	76.0	72.2	53.2
		全国比較	106	114	116	121
		評価	良好	良好	極めて良好	極めて良好

※全国比較は、全国の平均正答率を100とした場合の本市の数値。評価は115以上を「極めて良好」、105以上115未満を「良好」としています。

学習や生活に対する意識・実態

「いじめはいけないこと」とする意識が向上しています

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と思っている中学生の割合が、全国と比較して高くなっています。
- 全国と同様、本市の児童生徒も、自尊感情に関する設問で、肯定的な答え方が低いと言えます。

芦屋の子どもたちを伸ばすためには…

- 学校の教育活動全体を通して道徳教育の充実に取り組むとともに、「芦屋市いじめ防止基本方針」、各校の「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止や早期発見・早期対応についての取り組みをさらに充実させる必要があります。
- 運動会、合唱、小学校の自然学校、中学校のトライやる・ウィーク等さまざまな行事や体験活動を通して、挑戦し、やりきった達成感を味わわせるとともに、自信を持たせることが大切です。
- 達成したことをほめたり、評価していくことで家庭・地域・学校園が、子どもたちの自主性を尊重しながら、一緒になって子どもたちを育てるという機運を高めていくことが大切です。

学習や生活に対する意識・実態

(単位%)

No.	内容	区分	H25		H28
			本市	全国	
1	学校のきまり(規則)を守っている	小学校	31.2	29.4	42.9
		中学校	60.6	73.1	61.6
2	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	小学校	83.1	82.2	83.1
		中学校	70.9	80.8	74.8
3	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしている	小学校	47.7	56.5	52.4
		中学校	35.5	45.3	44.2
4	ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	小学校	80.1	78.3	71.9
		中学校	69.1	77.2	72.7
5	自分にはよいところがあると思う	小学校	39.6	39.9	36.2
		中学校	24.5	32.3	27.4
6	将来の夢や目標を持っている	小学校	74.1	67.7	68.6
		中学校	47.0	44.7	45.1

教育委員会の取り組み

学力向上をめざした学校の教育活動への支援

教育委員会では、芦屋市教育振興基本計画に基づき、児童生徒の知・徳・体の調和した「人間力」の育成を図る中で、学力向上のために本調査の結果を活用し、次のような取り組みを進め、学校の教育活動を支援していきます。

(1) 学習指導・授業研究の充実

- 児童生徒が体験を通して学べる学習環境の整備
- 児童生徒一人一人の個性や能力に応じた指導の充実
- 児童生徒の学習意欲や興味・関心を引き出す授業の研究
- 教職員の資質や授業力の向上を目指した研修の充実
- 小中学校間の円滑な接続や系統的な教科指導についての研究の推進

(2) 生徒指導・進路指導の充実

- 児童生徒の自己肯定感、規範意識を醸成する教育の推進
- 夢や目標をもって、自らの未来を切り拓く力をはぐくむ進路指導の推進

(3) 読書活動の推進

- 図書ボランティアや市立図書館と連携した読書活動の推進
- 朝の読書タイムの充実
- 授業での学校図書館の活用促進
- 学校図書館の本の利用冊数の増加



(4) 家庭への啓発・連携の強化

- 家庭との連携による児童生徒の生活習慣、学習習慣の向上

家庭・地域での取り組み

健やかな成長につながる環境づくり

- 約束ごとはきちんと守らせて、規則正しい生活が送れるようにしましょう。
- 学校での出来事や社会で起こっていることについて、親子で話を増やしましょう。
- 親子で読書に取り組む時間をとりましょう。
- 子どものよいところや頑張ったところを積極的に認め、評価しましょう。
- 子どもが地域の中で活動し、活躍できる機会を増やしましょう。
- 親子でインターネットや携帯メール等に依存しないような環境を作りましょう。